

Nerhol

種蒔きと鳥

Misreading Righteousness

2025年7月12日(土)ー10月13日(月祝)

休館日：月曜日(7月21日、8月11日、9月15日、10月13日は開館) 開館時間：10時ー17時30分(展示室への入場は17時まで)

観覧料：一般1400円(1120円) 大高生1120円(900円) ( )内は20名以上の団体料金 中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料です

企画展観覧券(ぐるっとバスを除く)をお持ちの方は、併せてMOMASコレクション(1階展示室)もご覧いただけます。

主催：埼玉県立近代美術館、朝日新聞社 協力：Yutaka Kikutake Gallery

広報協力：JR東日本大宮支社、FM NACK5



## 展覧会関連イベント

事前申込制イベントの詳細や申込方法は、当館ウェブサイトをご覧ください。

### ・アーティスト・トーク

登壇者 | Nerhol(田中義久、飯田竜太)、大浦周(当館学芸員)

日時 | 7月20日(日) 15:00-16:30(開場は14:30)

場所 | 2階講堂 定員 | 80人(当日先着順) 参加費 | 無料

### ・ワークショップ(子ども向け)

「動画を作品にしてみよう」

内容 | 動画を印刷して積み重ね、彫刻して作品を作ります。

講師 | Nerhol(飯田竜太)

日時 | 8月17日(日) 10:30-12:00

場所 | 3階創作室 定員 | 15人(事前申込制・要参加費)

対象年齢 | 5歳〜小学6年生(中学生もお申込みいただけます)

### ・ワークショップ(大人向け)

「同じ作業を繰り返し、作品を作ってみよう」

内容 | 写真を短冊型に裁断し、再構成してイメージを作り出します。

講師 | Nerhol(飯田竜太)

日時 | 8月17日(日) 17:00-19:00

場所 | 2階講堂 定員 | 20人(事前申込制・要参加費)

対象年齢 | 高校生以上

### ・担当学芸員によるギャラリートーク

日時 | 8月31日(日)、9月20日(土) 各15:00から30分程度

場所 | 2階企画展示室 \*企画展観覧料が必要です

### ・スライド・トーク

ご希望のグループにスライドを使って本展覧会の見どころをご案内します

(予約制)。お問合せ・ご予約は教育・広報担当(電話048-824-0110)まで。

## 同時開催

### ・MOMASコレクション(1階展示室)

6月7日(土)〜8月31日(日)

「セクション」 「特集:デビュー50周年記念 山本容子」

9月6日(土)〜11月30日(日)

「セクション」 「アーティストの絵本」 「MOMASの動物園」

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1 Tel: 048-824-0111

Fax: 048-824-0119 E-mail: p240111@pref.saitama.lg.jp

<https://pref.spec.ed.jp/momas/>

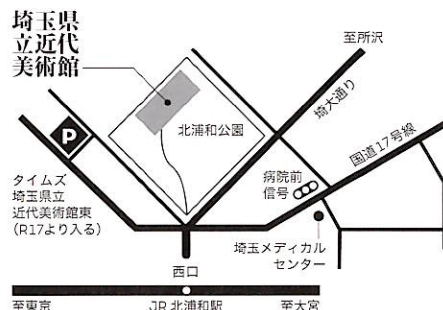
状況により休館および会期変更の可能性があります。

ご来館前に当館ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

## 交通案内

JR京浜東北線北浦和駅西口から徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅までそれぞれ約35分。当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「タイムズ 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。

団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。



# 埼玉県立近代美術館

The Museum of Modern Art, Saitama

Nerhol(ネルホル)は、グラフィックデザイナーの田中義久(1980-)と彫刻家の飯田竜太(1981-)により2007年に結成されたアーティストデュオです。

人物を連続撮影した写真の束に彫刻を施した初期のポートレート作品で注目を集めた彼らは、他者の思想や異なる分野領域とも大胆に接続しながら、その関心と対象を拡げ表現を深化させていきます。写真と彫刻のみならず、自然環境と人間社会、可視性と不可視性といったさまざまな境界を往還し紡ぎ出される表現は、幾重にも張り巡らされた複数の関係を縋き繋ぐ、独自の価値を獲得してきました。その表現活動の歩みを振り返る大規模個展「Nerhol 水平線を捲る」(千葉市美術館、2024年)に続き開催される本展では、最新作を中心に未発表作を加えた約80点による構成で彼らの多層的な探究の現在地を紹介します。

「種蒔きと鳥 Misreading Righteousness」。本展が掲げるタイトルには、物事や行為の一義的な確かさに問いを投げかけ、そこに潜在する意味や覆い隠された関係を注視してきた二人の一貫した姿勢が反映されています。蒔かれた種がその場で育つことと、掘り返されて運ばれどこか別の地で芽吹くこと。どちらもある面では正しく目的を遂げていると同時に、見方を変えれば失敗や過誤になりえます。両義的な世界のあり様をその複雑さのまま抱き上げようとする制作の営みが、私たちの日常への意識にささやかな変容をもたらす。本展がその機会となることを願います。



《Cornus florida linn》2025年 ©Nerhol Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery



《Canvas (Oasa)》2025年 ©Nerhol  
Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery



《Piano sonata 01》2025年 ©Nerhol  
Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery



《connecticut》2025年 ©Nerhol  
Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery



《carve out / E.M 38a》2023年 ©Nerhol  
Courtesy of Yutaka Kikutake Gallery  
Photo by Dasiuke Shima Photography